

西ヶ谷清掃工場試験焼却に係る放射能等の測定結果について

1-1 敷地境界付近の空間放射線量率(4月24日静岡市測定。地面から1mの高さ)

東方向 0.05 μ Sv/時	西方向 0.08 μ Sv/時	南方向 0.06 μ Sv/時	北方向 0.06 μ Sv/時
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

1-2 同上・試験焼却開始後 (5月23日日本環境衛生センター測定。地面から1mの高さ)

東方向 0.05 μ Sv/時	西方向 0.07 μ Sv/時	南方向 0.06 μ Sv/時	北方向 0.06 μ Sv/時
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

2 本市が受入れた災害廃棄物(山田町の木くず)の放射性物質濃度(5月2日静岡県測定)

試料 1 16.8Bq/kg	試料 2 11.7Bq/kg
----------------	----------------

※ 以下、静岡県の測定結果は、県のホームページ上に公開されています。

国の定める放射性廃棄物のクリアランスレベルは 100Bq/kg となっています。

3 岩手県山田町をコンテナが出発する時の空間放射線量率(5月17日、18日静岡県測定)

0.06~0.08 μ Sv/時 (コンテナ両側面中心から1m離れた位置)0.08 μ Sv/時 (バックグラウンド空間線量率)0.000~0.002 μ Sv/時 (遮蔽線量率)

4-1 プラットホーム No.1 扉前(扉開閉前後)の空間放射線量率(5月21日静岡市測定)

扉を閉めた状態 0.05 μ Sv/時(住民立会実施、床から高さ1m、扉から1m離れた位置)
--

扉を開けた状態 0.06 μ Sv/時(同上)

4-2 同上・試験焼却開始後 (5月23日静岡市測定)

扉を閉めた状態 0.05 μ Sv/時(住民立会実施、床から高さ1m、扉から1m離れた位置)
--

扉を開けた状態 0.06 μ Sv/時(同上)

5-1 周辺施設の空間放射線量率(5月21日静岡市測定。地面から50cmの高さ)

安倍口小学校正面付近他 0.05~0.08 μ Sv/時

5-2 同上・試験焼却開始後 (5月23日静岡市測定。地面から50cmの高さ)

安倍口小学校正面付近他 0.06~0.08 μ Sv/時

6 JR 静岡貨物駅での空間放射線量率(コンテナ到着前5月21日、到着後5月22日静岡県測定)

コンテナ到着前 0.06 μ Sv/時(地面から1mの高さ)

コンテナ到着後 0.04~0.05 μ Sv/時(コンテナの側面中心から1m離れた位置)
--

7-1 搬入時の空間放射線量率(5月22日静岡市、日本環境衛生センター測定)

コンテナの前後 0.05~0.06 μ Sv/時(コンテナの側面中心から1m離れた位置)
--

災害廃棄物本体 0.05~0.08 μ Sv/時(住民立会実施、床に広げた木くずから1m離れた位置)
--

7-2 同上(最終コンテナ)・試験焼却開始後 (5月23日静岡市、日本環境衛生センター測定)

コンテナの前後 0.05 μ Sv/時(コンテナの側面中心から1m離れた位置)

災害廃棄物本体 0.06 μ Sv/時(住民・報道機関立会実施、床に広げた木くずから1m離れた位置)
--

8-1 通常時焼却生成物の放射能濃度検査結果一覧(5月21日 日本環境衛生センター測定)

通常日 試料名	セシウム 134 (Bq/kg)	セシウム 137 (Bq/kg)	セシウム合計値 (Bq/kg)	放射線量率 (μ Sv/h)	含水率 (%)
通常搬入ごみ	ND(3)	ND(3)	ND	0.08(0.08)	—
無害化处理飛灰	74(10)	98(10)	172	0.08(0.08)	16.1
溶融スラグ	ND(8)	ND(8)	ND	0.08(0.08)	5.6
溶融メタル	ND(5)	ND(5)	ND	0.08(0.08)	4.2

8-2 同上・試験焼却開始後 (5月23日 日本環境衛生センター測定)

試験焼却日 試料名	セシウム 134 (Bq/kg)	セシウム 137 (Bq/kg)	セシウム合計値 (Bq/kg)	放射線量率 (μ Sv/h)	含水率 (%)
無害化处理飛灰	60(10)	87(9)	147	0.08(0.08)	17.1
溶融スラグ	ND(6)	ND(7)	ND	0.08(0.08)	8.1
溶融メタル	ND(5)	ND(5)	ND	0.08(0.08)	3.1

備考1)放射性物質の結果欄における“ND”は検出限界を下回ったことを表し、括弧内の数値は検出限界を表します。

2)結果の表記は現物当たりの値です。

3)放射線量率の結果欄における括弧内の数値はバックグラウンド測定値を示します。

9 搬入された災害廃棄物の放射能濃度(5月22、23日 日本環境衛生センター測定)

ND~12Bq/kg (速報値)

10-1 通常時焼却の1号炉排ガス放射能濃度検査結果一覧(5月21日 日本環境衛生センター測定)

測定場所	検査項目	検査結果 (Bq/m ³ N)		
		ろ紙部	ドレン部	合計
1号炉煙突	セシウム 134	ND(0.25)	ND(0.41)	ND
	セシウム 137	ND(0.25)	ND(0.53)	ND
	放射性セシウム合計	ND	ND	ND

10-2 同上・試験焼却開始後 (5月23日 日本環境衛生センター測定)

測定場所	検査項目	検査結果 (Bq/m ³ N)		
		ろ紙部	ドレン部	合計
1号炉煙突	セシウム 134	ND(0.28)	ND(0.41)	ND
	セシウム 137	ND(0.22)	ND(0.47)	ND
	放射性セシウム合計	ND	ND	ND

備考)分析結果欄における括弧内の数値は検出限界を下回ったことを表し、NDは検出限界を下回ったことを表します。

※ 原発事故等とは関係なく、日常生活で受ける通常の被ばく(大地からの放射線は毎時0.04マイクロシーベルト、宇宙からの放射線は毎時0.03マイクロシーベルト)に加え、人体が受ける追加被ばく線量という考え方があります。

追加被ばく線量は一年間1ミリシーベルト(mSv/年)となっていますが、一時間当たりの空間放射線量率にすると0.114マイクロシーベルト(μ Sv/時)になります。(表中の数値はこの μ Sv/時を用いています。)

沼上清掃工場試験焼却に係る放射能等の測定結果について

1-1 敷地境界付近の空間放射線量率(4月24日静岡市測定。地面から1mの高さ)

東方向 0.06 μ Sv/時	西方向 0.05 μ Sv/時	南方向 0.06 μ Sv/時	北方向 0.06 μ Sv/時
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

1-2 同上・試験焼却開始後 (6月13日静岡市測定。地面から1mの高さ)

東方向 0.06 μ Sv/時	西方向 0.05 μ Sv/時	南方向 0.06 μ Sv/時	北方向 0.06 μ Sv/時
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

1-3 同上・試験溶融開始後 (6月15日静岡市測定。地面から1mの高さ)

東方向 0.06 μ Sv/時	西方向 0.04 μ Sv/時	南方向 0.06 μ Sv/時	北方向 0.06 μ Sv/時
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

2 本市が受入れた災害廃棄物(大槌町の木くず)の放射性物質濃度(6月1日静岡県測定)

試料	11.8Bq/kg
----	-----------

※ 以下、静岡県の測定結果は、県のホームページ上に公開されています。

国の定める放射性廃棄物のクリアランスレベルは 100Bq/kg となっています。

3 岩手県大槌町をコンテナが出発する時の空間放射線量率(6月8日、6月9日静岡県測定)

0.05~0.06 μ Sv/時※2 (コンテナ両側面中心から1m離れた位置)

0.08 μ Sv/時 (バックグラウンド空間線量率)

0.000~0.003 μ Sv/時 (遮蔽線量率)

4-1 プラットホーム No.8 扉前(扉開閉前後)の空間放射線量率(6月11日静岡市測定)

扉を閉めた状態	0.06 μ Sv/時(住民立会実施、床から高さ1m、扉から1m離れた位置)
---------	--

扉を開けた状態	0.06 μ Sv/時(同上)
---------	-----------------------

4-2 同上・試験焼却開始後 (6月13日静岡市測定)

扉を閉めた状態	0.07 μ Sv/時(住民立会実施、床から高さ1m、扉から1m離れた位置)
---------	--

扉を開けた状態	0.07 μ Sv/時(同上)
---------	-----------------------

4-3 溶融施設プラットホーム扉前(扉開閉前後)の空間放射線量率(6月11日静岡市測定)

扉を閉めた状態	0.06 μ Sv/時(住民立会実施、床から高さ1m、扉から1m離れた位置)
---------	--

扉を開けた状態	0.06 μ Sv/時(同上)
---------	-----------------------

4-4 同上・試験溶融開始後 (6月15日静岡市測定)

扉を閉めた状態	0.07 μ Sv/時(住民立会実施、床から高さ1m、扉から1m離れた位置)
---------	--

扉を開けた状態	0.07 μ Sv/時(同上)
---------	-----------------------

5-1 沼上清掃工場の周辺施設の空間放射線量率(6月11日静岡市測定。地面から50cmの高さ)

麻機小学校正面付近他	0.05~0.08 μ Sv/時
------------	----------------------

5-2 同上・試験焼却開始後 (6月13日静岡市測定。地面から50cmの高さ)

麻機小学校正面付近他	0.05~0.08 μ Sv/時
------------	----------------------

5-3 同上・試験溶融開始後 (6月15日静岡市測定。地面から50cmの高さ)

麻機小学校正面付近他	0.05~0.08 μ Sv/時
------------	----------------------

6 JR 静岡貨物駅での空間放射線量率(コンテナ到着前 6月 11 日、到着後 6月 12 日静岡県測定)

コンテナ到着前	0.05 μ Sv/時(地面から 1m の高さ)
コンテナ到着後	0.03~0.05 μ Sv/時(コンテナの側面中心から 1m 離れた位置)

7-1 搬入時の空間放射線量率(6月 12 日静岡市、日本環境衛生センター測定)

コンテナの前後	0.05~0.07 μ Sv/時(コンテナの側面中心から 1m 離れた位置)
災害廃棄物本体	0.06~0.07 μ Sv/時(住民立会実施、床に広げた木くずから 1m 離れた位置)

7-2 同上(最終コンテナ)・試験焼却開始後 (6月 13 日静岡市、日本環境衛生センター測定)

コンテナの前後	0.05 μ Sv/時(コンテナの側面中心から 1m 離れた位置)
災害廃棄物本体	0.06 μ Sv/時(住民・報道機関立会実施、床に広げた木くずから 1m 離れた位置)

8-1 通常時焼却生成物の放射能濃度検査結果一覧(6月 11 日 日本環境衛生センター測定)

通常日 試料名	セシウム 134 (Bq/kg)	セシウム 137 (Bq/kg)	セシウム合計値 (Bq/kg)	放射線量率 (μ Sv/h)	含水率 (%)
焼却施設通常ごみ	2(2)	4(2)	6	0.08(0.08)	—
焼却施設主灰	ND(7)	13(8)	13	0.08(0.08)	18.6
焼却施設処理飛灰	67(11)	90(10)	157	0.08(0.08)	17.4
熔融施設処理飛灰	98(10)	160(12)	258	0.08(0.08)	26.8
熔融スラグ	ND(7)	9(6)	9	0.08(0.08)	7.2
熔融メタル	ND(4)	ND(4)	ND	0.08(0.08)	1.8
熔融不適物	ND(8)	16(8)	16	0.08(0.08)	23.9

8-2 同上・試験焼却開始後 (6月13、15、16日 日本環境衛生センター測定)

試験焼却日 試料名	セシウム 134 (Bq/kg)	セシウム 137 (Bq/kg)	セシウム合計値 (Bq/kg)	放射線量率 (μ Sv/h)	含水率 (%)
焼却施設主灰	11(8)	21(10)	32	0.08(0.08)	24.9
焼却施設処理飛灰	69(11)	96(11)	165	0.08(0.08)	18.2
熔融施設処理飛灰	90(9)	140(9)	230	0.08(0.08)	27.4
熔融スラグ	ND(7)	ND(8)	ND	0.08(0.08)	5.9
熔融メタル	ND(4)	ND(4)	ND	0.08(0.08)	1.4
熔融不適物	ND(6)	ND(6)	ND	0.08(0.08)	—

備考 1)放射性物質の結果欄における“ND”は検出限界を下回ったことを表し、括弧内の数値は検出限界を表します。

2)結果の表記は現物当たりの値です。

3)放射性セシウムの合計値については、NDは0として計算します。

4)放射線量率の結果欄における括弧内の数値はバックグラウンド測定値を示します。

8-3 通常時焼却の放流水放射能濃度検査結果(6月11日 日本環境衛生センター測定)

通常日 試料名	セシウム 134 (Bq/kg)	セシウム 137 (Bq/kg)	セシウム合計値 (Bq/kg)
放流水	ND(10)	ND(9)	ND

8-4 試験焼却(焼却処理)開始後の放流水放射能濃度検査結果(6月13日 日本環境衛生センター測定)

試験焼却日 試料名	セシウム 134 (Bq/kg)	セシウム 137 (Bq/kg)	セシウム合計値 (Bq/kg)
放流水	ND(10)	ND(8)	ND

8-5 試験焼却(溶融処理)開始後の放流水放射能濃度検査結果(6月15日 日本環境衛生センター測定)

試験溶融日 試料名	セシウム 134 (Bq/kg)	セシウム 137 (Bq/kg)	セシウム合計値 (Bq/kg)
放流水	ND(11)	ND(12)	ND

備考1)放射性物質の結果欄における“ND”は検出限界を下回ったことを表し、括弧内の数値は検出限界を表します。

2)結果の表記は現物当たりの値です。

3)放射線量率の結果欄における括弧内の数値はバックグラウンド測定値を示します。

9 搬入された災害廃棄物の放射能濃度(6月12日、13日 日本環境衛生センター測定)

5~26Bq/kg (速報値)

10-1 通常時焼却の2号炉排ガス放射能濃度検査結果一覧(6月11日 日本環境衛生センター測定)

測定場所	検査項目	検査結果 (Bq/m ³ N)		
		ろ紙部	ドレン部	合計
2号焼却炉煙突	セシウム 134	ND(0.24)	ND(0.61)	ND
	セシウム 137	ND(0.28)	ND(0.69)	ND
	放射性セシウム合計	ND	ND	ND
2号溶融施設煙突	セシウム 134	ND(0.27)	ND(0.48)	ND
	セシウム 137	ND(0.24)	ND(0.51)	ND
	放射性セシウム合計	ND	ND	ND

10-2 同上・試験焼却開始後

(6月13日、15日 日本環境衛生センター測定)

測定場所	検査項目	検査結果 (Bq/m ³ N)		
		ろ紙部	ドレン部	合計
2号焼却炉煙突	セシウム 134	ND(0.29)	ND(0.57)	ND
	セシウム 137	ND(0.23)	ND(0.70)	ND
	放射性セシウム合計	ND	ND	ND
2号溶融施設煙突	セシウム 134	ND(0.24)	ND(0.55)	ND
	セシウム 137	ND(0.23)	ND(0.53)	ND
	放射性セシウム合計	ND	ND	ND

備考)分析結果欄における括弧内の数値は検出限界を下回ったことを表し、NDは検出限界を下回ったことを表します。